

新基地建設反対名護共同センターニュース

「民意無視 理不尽な新基地建設は中止すべきだ」 野党国会議員 11人が「辺野古」へ視察と激励



↑海上行動後、抗議船のスタッフとともに瞬間的にマスクを外し全員で記念撮影。K8護岸付近ではカヌーチームを激励し、防衛局に向かって「違法工事は中止せよ」とシュプレヒコールを行いました。↓



うるま市で連日スタンディング

うるま市の島ぐるみ会議では連日夕方5時から30分間、与勝十字路でスタンディングを行っています。防衛局の設計変更で宮城島からも埋立用の土砂を搬出する計画になったことに反対するため、「宮城島の土をへノコ埋立てに使わないで」などと書いた横断幕を掲げています。ゲート前に行くときもこの横断幕を掲げて参加しています。(通信・伊保妙子さん)



衆参の野党国会議員らで構成する沖縄等米軍基地問題議員懇談会の会長・近藤昭一衆院議員、事務局長・石橋通宏参院議員など11人は19日、名護市辺野古を訪れ、抗議船3隻に分乗し新基地建設現場を視察するとともに抗議中の県民を激励しました。船上で土木技師の北上田毅さんから現場の説明を受けました。北上田さんはジュゴンや軟弱地盤、活断層、サンゴの移植問題など現状を説明。「埋め立ての進捗状況は遅れに遅れており、政府が予定する期間では到底完成できない。一日も早い普天間の返還のためとの口実は破綻している」と話しました。

K8護岸付近では、抗議を展開中のカヌーチーム10艇ほどに代表がマイクで「共に頑張りましょう」と激励するとともに、防衛局や海上保安庁の職員に対して「民意を無視し、完成のめどもたない理不尽な基地建設は直ちに中止すべきだ」と訴えました。この日の行動には沖縄県選出の赤嶺政賢、照屋寛徳、屋良朝博の各衆院議員、高良鉄美参院議員も参加しました。



←正午の作業車搬入に備え、国会議員らはゲート前で県民と一緒に座り込み、抗議の意思を示しました。

参加した国会議員全員が、「皆さんの頑張りが全国を励ましています」と激励と連帯の挨拶をしました。→



違法な赤土搬送現場など目撃 国会論戦に生かす

総選挙 全4区でオール沖縄の勝利を！ 安里・島ぐるみの会が学習会

那覇市内の安里・大道・松川島ぐるみの会は17日、那覇市内で赤嶺政賢衆院議員を講師に学習会を開きました。赤嶺氏は「菅政権は学術会議への人事介入にみられるように安倍政権よりも強権的でファッショだ」と切り出し、辺野古新基地問題や臨時国会などをめぐる情勢を報告しました。自公政権を終わりにさせ野党連合政権をつくるのが大事。来たる総選挙の沖縄小選挙区では1区から4区まで「オール沖縄」候補を全員勝利させることが極めて重要になっていると報告しました。



総選挙で自公候補や補完勢力に必ず勝利を、と熱く決意を交流しあった学習会